

令和元年度 第1回 学校関係者評価委員会まとめ

日時： 令和元年6月25日（火）15：00～

場所： 本校 多目的教室

会次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 委嘱状交付
4. 学校長挨拶
5. 学校運営についての説明
6. 意見交換
7. 閉会

出席者

★評価委員

- | | | |
|--------------|-------|--------------|
| ・熊本市立出水小学校校長 | 内田 博之 | 先生（校務のためご欠席） |
| ・熊本市立出水中学校校長 | 竹下 恒範 | 先生 |
| ・学校法人評議員 | 石川 博敏 | 様 |
| ・玉泉会（同窓会）会長 | 上田 裕子 | 様 |
| ・育友会（PTA）会長 | 岡本 美和 | 様 |
| ・出水校区自治協議会会長 | 渡辺 幸夫 | 様 |
| ・出水校区防犯協会会長 | 松岡 三雄 | 様 |
| ・出水商栄会副会長 | 津留 清美 | 様 |

★学校関係

校長、副校長、教頭、参与、事務長、総務部主任、教務部主任、情報企画広報部主任

ご意見など（抜粋）

- ・地域社会との連携という話があったが、中学3年時に不登校だった生徒が高校入学後登校時に会ったり、高校総体のハンドボール大会に出ている様子や、高校入学後環境の変化をうまく利用して頑張ってくれているのは嬉しい。
- ・働き方改革は私立にとって悩ましい問題であり、学校独自の知恵を絞り出す必要がある。
- ・昨今の高校生は全体的に落ち着いているようだが、スマホ等の普及により表出しないことが多く、教員一人ひとりの意識が必要である。
- ・公務員の実績は素晴らしい。能力があるだけではなく、特別な訓練の賜物であり、先生方の努力の結果である。そこで、公務員コースについて中学校への説明会等でさらにアピールすべきである。いろいろな学科に入って最終的に公務員コースを選択していくという方法は、いわば人気を誇る総合学科のミニ版だと考える。今後地方が都市型になり、大学入試制度が変わっていく中で普通科が本来の授業をどのように変えていくか一つの課題であり、公務員コースは一つの大きな魅力である。
- ・学校が大きな岐路に立っていることがわかった。しかし変わろうと思って簡単に変わらない中で先生たちの出された成果に感銘を受けた。生徒たちの士気が上がってきた。将来に向けての考えが学校とのマッチングで良くなってきた。入学者の数を見ても一目瞭然で、生徒一人ひとりの良さを引き出していく先生方の姿が垣間見える。
- ・地域社会との連携では地域に何を貢献したらいいか考え、近隣の中学生が行きたいと思える学校作りを進めてもらいたい。
- ・学校紹介DVDも大変良かった。卒業生が母校に協力したいと思えるよう努力したい。
- ・たくさんの時間を費やして先生方が生徒に向き合って下さるのが保護者としてありがたい。携帯やSNSの普及により帰宅してもいじめから解放されない子どもたちがおり、我が子でさえも携帯の中でどのような行動をとっているか把握できていない不安がある。保護者にとって子どもが学校から元気に帰ってくることが何よりも嬉しいこと。先生と密に連絡をとれる雰囲気はありがたい。

- ・要望として部活動の紹介を保護者にもPRして欲しい。例えば高校総体のハンドボール大会のテレビ放映や甲子園をかけた野球部の特集等安全メールやその他の方法で発信してもらいたい。そうすることにより保護者に学校に関心を持ってもらえるのではないかと思う。
- ・出水地区の学校はどこも情報交換の場を設けていただき、動きがよくわかる。何よりも都会における社会問題（ゴミ屋敷問題、老老介護問題、認知症の徘徊問題等）が地方にも及んでいるのではないかと危惧している。
- ・（NPO法人「みなみの風」を運営しているので福祉的な視点から）どこかで理解してくれる、受け止めてくれる人や場所があれば人生が変わる。「みなみの風」は就労の訓練、もしくは就労を続けるところで、情報交換をしながら居心地の良い場所になれたらと考えている。
- ・先日国府高校の「まなびや」が二度訪問してくれ、「新商品の開発ができないか」という提案をいただいた。こちらの提案としては「高校生レストラン、高校生カフェ」のようなものでつなぎの役割ができたらと考えている。
- ・水前寺1丁目で見守り活動を続けている。3年前は元気な女子生徒の2人乗りを注意したことがあったが、最近は挨拶もするし、交通法規も守る。先日、近くで高校生と79才の接触による死亡事故があったので今後も見守り活動を続けたい。
- ・体育大会を見学したが素晴らしかった、（娘が国府の卒業生だが、保護者として体育大会を一度も観たことがなかった）保護者がたくさん観覧に訪れており盛大だった。